

## 事務事業評価表（補助金等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年6月28日
2次評価日（課長等）	30年6月28日

1 事業名	地域子ども事業安全保険料負担金			事務事業コード	103113	
2 担当部課	部等	教育委員会	課等	生涯学習課	担当者	勝野 哲矢
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	生涯学習の推進	施策	社会教育の充実	
		事務事業	地域子ども事業安全保険料負担金			
		予算科目	生涯学習推進事業	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
	根拠法令等	なし				

## ●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	負担金	② 期間	28 年度 ~ 30 年度
補助金の種別	—	③ 対象	市民団体、NPO等
④ 制度の内容	<p>「地区育成会活動」及び「放課後子どもの居場所づくり事業」に参加する子どもと育成会役員の安全を担保するため、以下の者が「全国子ども会安全共済会」の保険に加入する費用を負担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住の小中学生全員</li> <li>・地区育成会参加者（乳幼児、高校生、育成者）</li> </ul>		
⑤ 積算方法	<p>■平成28年度以降 @150円×加入者数 ※10/1以降加入の場合は@140円</p> <p>■平成27年度まで @100円×加入者数 ※10/1以降加入の場合は@90円</p>		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	<p>「地区育成会活動」及び「放課後子どもの居場所づくり事業」の安全・安心が確保されるとともに、これらの活動が活性化する。</p>		

## 5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	5,790	5,260	5,260	5,260
実際の支出件数	5,152	4,988	4,894	
執行率	89.0%	94.8%	93.0%	
② 金額（円）				
予算額	579,000	789,000	789,000	789,000
財源内訳				
一般財源	579,000	789,000	789,000	789,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	515,100	748,080	733,940	
予算執行率	89.0%	94.8%	93.0%	
支出額の前年度比		145.2%	98.1%	

## ③ 29年度の交付先

岡谷市子ども会育成連絡協議会

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		* 妥当性 = 行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5 4	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		高い	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5 8	
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。		0		
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

7 有効性評価		* 有効性 = 成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性 標準	
評価項目		はい	いいえ		
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1			
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1			
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1			
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1			
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	98.1%	0

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)
	・ 特になし
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	・ 特になし
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------